

なぜ at night なのか、in the night でなく

白 谷 敦 彦*

0. 序

英語学習者が抱く疑問でよくあるのが「朝・昼・夕方は in the morning, in the afternoon, in the evening と、前置詞 in と定冠詞を用いるのに、夜だけは at night と、前置詞 at と無冠詞で用いるのはなぜなのか」というものがある。これに対する返答は「夜は時間的には長いけれど、活発な活動をする時間ではなく寝ている時間が長いため認識としては短く感じられるため、点的な時間を表す前置詞 at が用いられる」といったところであろう。私はこの論文においてこの考え方に異論を唱えようとは思わない。「点的」という表現には少し違和感があるものの、だいたいこの考え方でいいのではないかと思うし、学習者にとってもわかりやすい説明であると思う。ではこの論文で何がしたいのか？ In the night という表現はないのかと思い、コーパスを検索してみると、あるのである。わずかで例外的というのではなく、少なからず存在するのである。では in the night と at night はどう使い分けられているのかという疑問がわく。これがわかれば、上記のことがらを証明するようなことがらが判明するかもしれないし、そこまでいかななくても、何か関連する面白い事実がわかるかもしれない。というわけで、in the night と at night の使い分けについて考察してみたい。調べていくうちに at morning や at evening という表現もごくわずかな

* 福岡大学人文学部教授

がら存在することがわかったので、morning, afternoon, evening についても触れたい。以上のことを念頭に置き、この論文では次のことに言及する。

- [1] in the night と at night の使い分け (1 節、2 節)
- [2] in the morning, in the afternoon, in the evening, in the night, at night はそれぞれ、だいたいどの時間を言うのか。(3 節)
- [3] at morning/afternoon/evening はあるか。In the morning/afternoon/evening とどう異なるか。(4 節)
- [4] 上記英語学習者の疑問に関連して何か指摘できることはあるか。(5 節 (まとめ))

データには British National Corpus World Edition (以下 BNC と表記) を使用する。¹

1. In the night と at night の使い分け (1) : 共通する動詞で比較

この節では同じ動詞が用いられている in the night と at night の用例を比較する。まず、データについて説明する。In the night の例は BNC 全体で 570 あり、at night の例は BNC 全体で 3019 あった。そのうち in the night と at night とで同じ動詞が用いられている例で 3 例以上あるものは come, go, walk の 3 つであった。では、それらの例文をあげる。まずは come の例である。At night, in the night の順にそれぞれ 6 つずつ挙げる。例文の後に必要に応じて大意を付ける。その大意には引用文そのものには含まれない先行談話の情報も必要に応じて付ける (例文のあとに括弧で示したアルファベットと数字は BNC の出典ファイル名である)。

Comeat night の例

- (1) Late, late **at night** my husband *comes* home. (A6V)
- (2) When she was told off by her parents for *coming* home late **at night**, the old lady would ask them, “Were you never young once?” (AP7) (両親が夜遅く帰宅した娘を叱りつけた時、おばあちゃんは両親に「自分たちが若かった頃はどうかだったか忘れたのかい」と言った。)
- (3) When you *come* home late **at night** I am worried sick. (B10) (あなたの帰宅が夜遅いと心配で心配でどうしようもないのよ。注：母親の娘に対する言葉)
- (4) “Even if I am sleeping,” she told me “at 12 o’clock **at night** he *comes* and pulls the quilt off and starts beating me.” (A6V) (私が寝ていても夜の12時に彼がやってきて、布団を剥ぎ、殴りかかるのです。)
- (5) David had made great friends with them because they would *come* into his apartment **at night** and he would sing them songs and things. (AB5) (David は彼女たちと仲良くなった。彼女たちは夜に David のアパートを訪ね、David は彼女たちに歌を歌ってあげた。)
- (6) a metal door *comes* down **at night** and the neighbourhood is full of tourists anyway. (A0U) (バーのドアは開かれ、旅行者で溢れていた。)

in the night の例

- (7) He *comes* like a Thief **in the night**, Christ, that is, and woe betide you if he finds you wanting. (A0L) (彼は夜、泥棒のようにやってくる。あなたが欲していると知ったらあなたに災いをもたらす。)
- (8) we’re frightened of people *coming* through the back door **in the night**, you know kicking in the back door, so we sleep in the other room.

(FY6) ((注：不特定の侵入者を指して) 裏口から入ってこられると怖いので、蹴り開けられたりして...私たちは他の部屋で寝た。)

(9) Erm what actually happens if someone *comes* up to you **in the night** and says, My house has been burgled. (FYF) (夜に誰かがやってきて「うち、泥棒に入られました」と言ったらどうしますか?)

(10) Revelations may *come in the night*, when the mind has shed its normal clutter of reasons and viewpoints. (CCN) (啓示は夜にやってくるかもしれない。(昼間と違って) 心が普通の思考の仕方から解放された夜に。)

(11) But there is a constant control and you go to bed not knowing if they might not *come* for you **in the night**. (EVS) (秩序は保たれており、夜に彼らがあなたの元へやってくるかどうかわからないままあなたは眠りにつく。)

(12) And then we *came*, over the heather **in the night**. (EWC) (我々はやってきた。生い茂る低木を超えて。)

これらの例文を見て、大きな差異は見出せないが、文脈を合わせて考えると、どちらかという to *in the night* の例文には嫌なこと、思ってもみなかったことが表現されているように感じられる。例えば、泥棒、侵入者、急な訪問者は嫌なことであり、啓示は予想できないことである。これに対して *at night* の方は、家族の帰宅や知り合いの訪問が表現されていることが多く (6例のうちそれが5例であることに対して「多く」ということばを用いるのは早計であろうが)、それらは意図されて行われること、または、予想されることである。「遅く帰宅する」のは嫌なことであるが、帰宅すること自体は忌み嫌われることではない (嫌われる要素は *late at night* の、*late* にある)。では、動詞 *go* が用いられている例を、先ほどと同じく、*at night*, *in the night* の順に挙げる。At

night は 11 例、in the night は 3 例ある。

Go

at night の例

- (13) I dunno if they [ducks] got nests or nothing to *go* to **at night** ... (A74)
(アヒルは巣を持っているのか、夜に行く場所なんてないのか、私は知らない。)
- (14) Unable to go away for weekends or holidays, she never *goes* out **at night** to dinner parties, discos or evening classes. (A1X) (週末や休日
に外出することができないので、彼女はパーティやディスコ、学校などに行くことはない。)
- (15) She still gets a bit funny sometimes, and won't *go* out **at night**, even if there's a party or summat. (A74) (彼女は変わらず生意気な態度をとることがあり、パーティがあっても行こうとしない。)
- (16) Bedelia never *went* out **at night** as she didn't want to get mugged. (ACK) (事件に巻き込まれなくなかったので Bedelia は夜に出歩くことはなかった。)
- (17) Marie used to ... sleep all day and then *go* out **at night**. (A74) (Marie は昼に寝て夜に出歩くことがよくあった。)
- (18) So the woman from the first House *went* out **at night** and burnt the rival House to the ground. (ADM) (first House の女性は夜に出かけ、ライバルの House を焼き払った。)
- (19) most people only *went* there [the side of the school] **at night**. (AMB) (ほとんどの寮生は夜に出歩くとしたらそこしかない学校の端に行った。)
- (20) If you're *going* out **at night**, make sure your parents always know

where you are (ARA) (夜に出かける時には両親に行先を告げて行きなさい。)

- (21) We *go* out **at night** in front of the trenches (ARR) (我々は夜に塹壕の前を通過して出かけた。)
- (22) And you, miss, ... never *go* out on your own **at night** again. (AT7) (お嬢さん、二度と一人で夜に出かけてはいけません。)
- (23) Let her parents know about her movements when she *goes* out **at night** (B10) (彼女が夜に外出するときにはどこで何をしているのか両親に報告してください。)

in the night の例

- (24) Now you've found the chamber haven't you, under the bed, so you won't have to *go* far **in the night**. (AC5) (居場所ができたので、夜にねぐらを探してさまよう必要はなくなった。)
- (25) She says the worst thing she can remember was the outside loo and having to get out a lantern if you wanted to *go* **in the night** and go out there with all the cobwebs and strange shadows. (K25) (最悪なのはトイレが屋外にあることだ。どうしても暗いうちにトイレに行きたくなった時には、ランタンを取り出して一旦家の外に出なければならぬ。蜘蛛の巣や気味悪い影がある中を。)
- (26) Three helico , oh, or helicopters *went* over three times **in the night** I thought I was gonna raped and pillaged but no luck! (KLT) (3機のヘリコプターが夜に3回向こうへ行った。私は襲われ身ぐるみ剥がれると思った。)

In the night の例 (24) (25) は周囲の状況や自分の体調の変化で仕方なく *go*

するということが表現されており、(26) では自分の意思とは関係なく予想もできないことが起こったことが表現されている。At night の例 (13) - (16) は同じように周囲の状況や自分の体調の変化で仕方なく go するまたは go しないということが表現されているが、(17) - (23) は自分から意図して go するということが表現されている。次に動詞 walk が用いられている例を at night, in the night の順に挙げる。At night は 9 例、in the night は 3 例ある。

walk

at night の例

- (27) *Walking* about **at night** in the streets of Calcutta ... always the same agony and anger assailed me as it did on that cold morning in Kiel. (ALH) (カルカッタの通りを歩くといつも、キールの寒い朝と同じ苦しみと怒りを感じる。)
- (28) it was certainly not safe to *walk* the streets **at night**, with violence and robbery commonplace (B17) (夜道を歩くのは絶対に危なかった。暴力や窃盗が横行していた。)
- (29) My idea of real rape is, say, a woman *walking* home **at night** and dragged into an entry and forcefully raped. (A5Y)
- (30) it was safe to be on the terraces and one could *walk* the streets **at night**. (A6Y) (高台にいるのは安全だったし、夜に通りを歩くこともできた。)
- (31) I don't mind this, *walking* along streets **at night**. (A74) (夜に通りを歩くことも嫌ではない。)
- (32) The Valley of the Shadow of Death was the steep lane ... a stony track where one *walked* **at night** whistling. (ADA) (死の影谷には険しい道があった。石ころだらけだったが夜に口笛を吹きながら歩くこ

とはできた。)

- (33) He *walks* about **at night**, and people say he can see in the dark. (ADM)
(彼は夜に歩き回った。闇でも目が効くと噂されていた。)
- (34) an unfortunate man is *walking at night* on the banks of the Seine when a suicide, having cast himself upon the waters, cries for help. (AMG) (不運な男がセーヌ川のほとりを歩いていると、身投げした男が川から助けを求めた。)
- (35) Go for a *walk* in the forest **at night**. (APC) (夜に森を散歩しろ。)

in the night の例

- (36) *Waking in the night* to find her bending over him. (AC4) (夜に歩くときには母は覆うようにしてかばってくれた。(危険なものが降りかかってきたときに覆うことができるようにして歩いた。))
- (37) Perhaps really it should be anonymous merging, at random, with all comers as you *walked in the night*. (FU7) (夜に歩くと目に入るもの全てと一体感を感じる。)
- (38) He's gonna come in the car and she doesn't fancy *walking in the night*. (KBW) (彼は車で行くつもりだ。彼女だって夜に歩きたくはないだろう。)

Come, go の例ほどの差異は感じられない。

2. In the night と at night の使い分け (2) : 頻出動詞 (句) 比較

本節では、in the night, at night それぞれで、どのような動作が表現されることが多いのか調べることで何らかの特徴がないか考察する。先にも書いた

ように in the night の例は BNC 全体で 570 あり、at night の例は BNC 全体で 3019 あった。そこで at night の例から in the night と同数の 570 例を選び考察対象とすることにした (検索ソフトでヒットした順に 1 から 570 までを対象とした)。

まず in the night と共起する動詞 (句) を挙げる。ある傾向が見られたので、その傾向ごとに挙げる。コロンの後の数字はその動詞句が使われていた例文の数である。

起きることを表す動詞 (句)

wake: 62

get up: 12

音を聞く、音がすることを表す動詞 (句)

hear: 20

人間が声をあげるということを表す例 : cry out:2, scream:2, snore: 2, shout:1, call out: 1

人間が音を立てることを表す例 : go bump: 6

動物が吠える例 : bark: 4, howl: 3

電話や警報機が鳴る例 : ring: 2

名詞であるが、動詞と組み合わせられて多用されていた例 : noise: 9, sound: 2

これ以外に音を立てることが現されていた例 (いずれも 1 例ずつ) : 列車の汽笛が鳴る (blow), rattle, rustle, talk out loud, sing, 冷蔵庫が音を立てる (hum), call

往来発着、移動を表す例

come: 21

pass: 7

go: 3

walk: 3

travel: 2

不幸、被害を表す例

die: 8

cry: 5

steal: 3

殺人 : kill: 3, murder: 1

fire (火事): 2

動詞句と組み合わせられて雨や雪が降ることを表現したもの

rain: 5, snow: 2, frost: 1

他 (2例以上あったもの)

何かが輝くことを意味する例 : glow: 4, shine: 2

見ることを意味する例 : see: 4, watch: 1

しゃべることを意味する例 : say: 2, talk: 1, speak: 1

逃げることを意味する例 : run away: 2, disappear: 2, run: 2, flee: 1

creep: 3, sit: 2, move: 2, think: 2

以下は1例しかない例であるが、少し挙げておこう : visit, leave, write,

teach, meet, eat, feel, wonder, lie, sleep, moan, dream

では、代表的な例文をあげる

- (39) **In the night** Sara *woke* to find Rodney's arms round her. (A0R)
- (40) I *got up* **in the night** and walked into an open press. (CCM)
- (41) Bea started to *hear* strange music **in the night**. (CH1)
- (42) She once joked that we were like ships that *passed* **in the night**. (JXW)
- (43) Old people in particular often ensure each night before they go to bed that their house is tidy and their last instructions are by their bed in case they should *die* **in the night** and someone will have to find them in the morning. (ADE) (年老いた人々は毎晩寝床につく前に、家はきれいにしているか、遺言は枕元に置いているか確かめる。夜の間に息を引き取り朝に発見されるといったことがあってもいいように。)
- (44) Ignore me, and I'll *cry* **in the night** alone. (H8M) (注：泣き続けている女性のせりふ。)
- (45) There had been heavy *rain* **in the night**, and some of the fields were flooded. (ADM)

At night と共起する動詞 (句) を挙げる。At night についてもある傾向が見られたので、その傾向ごとに挙げる。コロンの後の数字はその動詞句が使われていた例文の数である。

寝る、横になることを表す動詞 (句)

sleep: 23

go to bed: 5

lie: 9

働くことを表す動詞

work: 20

study: 5

往来発着、移動を表す例

go: 13

leave: 5

come: 6

return: 5

arrive: 3

walk: 10

drive: 8

travel: 4

起こす、起きていることを表す例

awake: 5, wake up: 3, sit up late: 2

明かりをつける

light: 7, illuminate: 1

戸締りをする

close: 6, lock: 3, shut: 1

見る、見える

see: 5, watch: 1, look: 3

他 (2例以上あったもの)

家の外にいる : stay out: 2, be out: 2, be away: 1

座る : sit: 3

食事をする : drink: 3, eat: 1, feed: 1

出現する : emerge: 3, appear: 2

襲撃する : attack: 2, overtake, swoop, break in

一人で居る : be left on his own: 1, be on her own: 2, be alone in the house: 1,
no one be around: 1

歌う、演奏やダンスなどをする : sing: 2, play: 2, dance: 1

泣く : weep: 1, cry: 1

sweat: 4

sneak: 4

ride: 2

hide: 2

train (トレーニングをする): 2

call: 2

deliver: 2

以下は1例しかない例であるが、数例挙げておこう : teach, write, discuss,
wash, gather, appear, pass, move, fly

では、代表的な例文をあげる

(46) I hope the guilty party is having trouble *sleeping at night*. (A6W)

(47) children refused to *go to bed at night* (AHC)

(48) I suppose if you *work at night* you got to sleep during the day. (A74)

(49) he worked in offices of the Gas Board, and was *studying* accountancy,

mostly **at night** (A6N)

(50) all the aircraft based there *left at night* (AR8)

(51) I spent a day in London, always *returning at night* to keep my mother company. (AC6)

(52) don't *drive* after 10 **at night** (AAV)

以上のことをまとめると次のようになる。At night は行動するか寝ることが主に表現されている。行動として多いのは働く、往来発着（出かける、来る、帰る、移動する）、明かりをつける、戸締りをするなどといったことである。In the night で表現されることは、起きる、物音を聞く、というのが圧倒的に多い。ということは真夜中で寝ている時間を表すことが多いと言えるだろう。これらの次に多いのが被害である。窃盗、殺人、火事などは寝静まった後で犯人が活動したり事象が起こることが多いので、やはり、人間が寝ている時間のことを表現していると言えよう。（往来発着も多いが、その一部 come, go, walk については前節にて at night と比較した。）時間帯で言えば at night の次の時間が in the night という感じである。では、これを確かめるべく、それぞれの例が表す時間を調べてみることにする。

3. 時間帯比較

前節の最後で述べたように、at night の例文と in the night の例文を比較すると時間的に at night が先で、その後の時間を in the night が示しているのではないかと思われる。そこで両者が表す時間を調べてみよう。ついでと言ってはなんだが morning, afternoon, evening についても調べてみる。方法としては、時間を表す表現を拾って行くという方法（例えば I usually get up at 7 in the morning という例文があったとしたらその例文が表す時間は7時という方

法) である。それぞれ BNC の全データで調べてみた。まず大まかな範囲を挙げる。例えば in the morning の例であれば、例文が表す時間の中で一番早い時間と一番遅い時間を記述する。

in the morning: 1:30 am - 11:30 am

in the afternoon: 1:00 pm - 6:00 pm

in the evening: 5:00 pm - 11:00 pm

at night: 5:30 pm - 12:00 pm

in the night: 時間を表す数字と共起する例が 1 例のみ

in the night は時間を表す数字と共起する例が次の 1 例のみであった。

(53) it'll kill him from one o'clock **in the night** till seven o'clock the next morning ... (KCP)

この例文でも午前 1 時以降ということしかわからないし、morning との境界も (話者は何時から何時までを night と考え、何時から何時までを morning と考えているのか) わからない。また、驚いたことに、at は点的な時間を表すとされているが、at night の前に具体的な点的な時間を表す言葉が来るのである。いくつか例を挙げておきたい。このことについては後ほど考察する。

(54) They ring up *at seven and eight o'clock at night*. (KB1)

(55) he used to start at nine o'clock in the morning and finish *at nine o'clock at night*. (FXY)

(56) she used to ... get home *about seven o'clock at night*. (K65)

では時間の調査に戻って、個別に、何時台についての言及が多いか調べてみる。数字はその時間台の例文の数である。

in the morning

1 時台 : 55

2 時台 : 148

3 時台 : 136

4 時台 : 114

5 時台 : 74

6 時台 : 104

7 時台 : 75

8 時台 : 89

9 時台 : 55

10 時台 : 64

11 時台 : 43

in the afternoon

1 時台 : 13

2 時台 : 48

3 時台 : 54

4 時台 : 38

5 時台 : 21

6 時台 : 2

in the evening

5 時台 : 6

6 時台：31
7 時台：19
8 時台：18
9 時台：19
10 時台：16
11 時台：14

at night

5 時台：14
6 時台：15
7 時台：12
8 時台：30
9 時台：31
10 時台：53
11 時台：43
12 時台：8

In the morning は 2 時台、3 時台、4 時台、6 時台が多いが、顕著な偏りはない。In the afternoon は 2 時から 4 時までを中心として、5 時までという認識であろう。In the evening は 6 時台が多く、at night は 8 時台から始まり、10 時、11 時にピークを迎える。in the evening と at night は重なりが大きい。

この調査で in the morning/afternoon/evening と at night の表す時間帯はわかったものの、2 節で考えた「at night の次の時間が in the night」ということの確認を得ることはできなかった。なぜ in the night の例文には具体的な時間を表す表現がないのであろうか。2 節の最後のところでまとめたことをもう一度考えてみよう。再掲する。

At night は行動するか寝ることが主に表現されている。行動として多いのは働く、往来発着（出かける、来る、帰る、移動する）、明かりをつける、戸締りをするなどといったことである。In the night で表現されることは、起きる、物音を聞く、というのが圧倒的に多い。ということは真夜中で寝ている時間を表すことが多いと言えるだろう。これらの次に多いのが被害である。窃盗、殺人、火事などは寝静まった後で犯人が活動したり事象が起こることが多いので、やはり、人間が寝ている時間のことを表現していると言えよう。

これから考えると、at night は自発的、能動的な行動が多いので時間を意識することがあるであろう。例えばもう〇〇時だから寝ようとか、待っていた家族が〇〇時に帰宅したとかである。それに対して in the night は受動的なことが多い。目が覚める、物音がした、被害にあうというような。そうすると何時であるか意識的に確かめようとするのがなければ何時かはわからない。具体的な時間を意識しない、具体的な時間がわからない、ということが考えられる。時間を表現する必要がないということもあるかもしれない。例えば先に挙げた例文（42）（43）では「夜中に船が通り過ぎていた」「夜中に亡くなっていた。朝に発見された」ということが表現されており、行われたことが夜の間にあったこと、自分が関わり知らないことであったことが表現されればそれで十分であり、具体的な時間は重要なことではない。

さて、この節でわかった、at night の例において具体的な点的な時間を表す例があるということで生じてくる違和感がある。序節で述べたように「at night は点的な時間を表す」ということである。At night が点的な時間を表すのであれば、その前に来る具体的な時間はもっと点的になることになる。すぐには理解しづらいことであるが、次のように考えることができよう。点的というのは相対的なものである。At night を点的ととらえているのは 24 時間

を一 (いち) とした場合、night は morning, afternoon, evening と比べると短いので、それらと比べると点的なものになる。「夜の〇〇時」と考えると、今度は night が一 (いち) となり、そのうちの〇〇時が点的に認識される。つまり、時の 1 点とは他の時間との相対的なものである。具体的な時間を考えると night という 1 点の中にさらに点的な時間を感じることができる。

これまでは in the night と at night を比較し、morning, afternoon, evening, night の表す時間について考えてきたが、morning, afternoon, evening についても考察に入れてきたところで、それらについても考えが及び、at morning, at afternoon, at evening という表現はあるのかなのか、という疑問がわいてくる。次の節でそれについて考察する。

4. At morning/afternoon/evening はあるか

BNC を検索したところ、ほんのわずかだが、at morning, at evening の用例も存在する (at afternoon はない)。また、定冠詞の付く例 (at the morning, at the afternoon, at the evening) は無かった (at が付くと途端に無冠詞になるということである)。At morning, at evening はどんな場合に使われているのだろうか。

- (57) He [the two-faced landlord] also promised to change the sheets and rushes at least once every six weeks, *provide* stabling for my horse as well as a meal **at morning and night** for myself. (HH5) ((注：馬屋のある屋敷を借りることになった。He は屋敷の所有者で、世話をする人を指す。) 大家は少なくとも 6 週間に 1 回はシーツを取り替え、朝と夜には自分にも私の馬にも食事を用意すると約束してくれた。)

- (58) The soft beauty of their [sand dunes'] symmetrical curves, and the

sinuous outlines, *accentuated* as they were **at morning and evening** by the glancing rays of the sun, provided an artistry one could not readily forget ... (AR8) (砂丘の左右対称の曲線の柔らかな美しさと波を打つ輪郭は、きらめく太陽の光によって朝夕に一段と強調され、忘れられない芸術性をかもし出していた。)

(59) Through these windows, **at evening**, the clouds *look like* bandages and cottonoid. (FYV) (病室の窓から外を見ると、夕刻には雲は包帯と脱脂綿のように見える。)

(60) I'm on a train now, *heading* south **at evening**. The American Atlantic moves past me. All business is concluded. I don't know where we're going ... (FYV) (私は今列車に揺られている。時は夕刻。南に向かって。大西洋が通り過ぎてゆく。仕事は全て終わった。行く当てはなかった。)

(61) the gnats *dance* **at evening** (H8R) ((注：詩の一部) 蚊が夕方に飛び回る。)

(62) A day of rain, *clearing* **at evening**. (FU5) ((注：詩の一部) 雨の一日であった。夕方には晴れた。)

(63) The main sale also had some superb pictures: Hassam's "Horse drawn cabs **at evening**, New York", previously sold for \$900,000 in the 1989 Dorrance sale at Sotheby's, was one of the finest early Hassams ever offered. (CKT) (メインのセールにはものすごい絵画があった。Hassamの作品 "Horse drawn cabs **at evening**, New York" である。... 以下略)

(57) では大家が朝と夜に食事を用意するということが表現されているが、朝に1回、夜に1回ということが大事なことであり、何時に出すかということは

重要ではない。特に馬であるので時間の意識はない。朝であれば、また、夜であれば問題はない。ここでは朝がある一つのもの、夜が一つのものと考えられている。何時から何時までが朝、何時から何時までが夜というような「範囲」を感じ取ることはできない。(58) は太陽が昇りゆく時間、太陽が沈みゆく時間の太陽光線が砂丘に当たる時間が特に美しいということを言っている。具体的な時間が意識されているとは感じられない。太陽がある一定の位置にある時間を指しており、太陽が一定の位置にあるときには具体的な時間に関係なく砂丘がもっとも美しいということで、その時なら何時でもそうだとということになり、時間の範囲は関係ない。その時間を丸ごとひとつのものとしてとらえている。(59) はこれは病室から窓越しに雲を見たときの描写で「夕方には雲は包帯のように見える」という意味で、夕方ならいつでもそう見える、ということで evening を時間の幅のないものとしてとらえている。(60) については説明できない。進行形が用いられており行為の継続があるので in the evening と違いがないのではないかと思う。(61) (62) は詩の表現で状況がよくわからないので説明できない。(63) の引用符の中の語句は絵画のタイトルである。Horse drawn cabs は名詞句で、馬が引っ張るキャブ、つまり辻馬車という意味である。At evening の前に動詞が来る例ではないが、夕刻の辻馬車が通ったその一瞬を切り取って絵画にしているので、ある瞬間を at で表現しているのだろう。一部の例は詩の表現、絵画のタイトルという特殊性があり当てはまらないかもしれないが、(57) - (59) から言えるのはそれぞれ、朝全体、夜全体、夕方全体をまとめてとらえているということである。範囲があるものとしてはとらえていない。範囲がないから前置詞 in が付かない、範囲がないから定冠詞が付かないのではなかろうか。² In the morning/afternoon/evening のように in と the が用いられる場合には「範囲」が意識されていると考えられよう。範囲が意識されると、例えば、朝は何時から何時までで、その範囲の中のこの時間、というように意識されると、昼、夕方が同時に意識され、昼、夕方では

なく朝という時間帯であるというように限定の意識が生じると考えられる。だから定冠詞が付く。このことは at night にも当てはまるのではなからうか。at night も範囲があるものとしてはとらえていない。全体をまとめてとらえているのではなからうか。「全体をひとまとめにして考えている」ということは、言葉を変えれば点としてとらえているということにならう。なお at afternoon についてであるが、BNC では at afternoon はなかったが上記の議論をふまえると理論上は生じ得ると思うので、正確な言語事象を得るためには他のコーパスにも当たる必要があるであろう。

5. まとめ

これまでの議論をまとめよう。

At night は：

主語の能動的な動作が表現されることが多い。

表現される時間帯は 8 時から 11 時が多く、10 時台がもっとも多く、11 時台がそれに続く。

In the night は：

主語の受動的な動作が表現されることが多い。

具体的な時間が表現されることはほとんどない。

Morning, afternoon, evening, night が前置詞 in と定冠詞と共に用いられる場合 (in the morning, in the afternoon, in the evening, in the night となる場合)：

朝・昼・夕方・夜をそれぞれある一定の範囲を持つものとして表現している。

範囲を持つということは何時あたりから何時あたりまでという意識が生じることを意味する。必然的に他の時間帯と区別する（朝であれば昼や夜ではなく朝であるという意味）ことになるので定冠詞が付く。

Morning, afternoon, evening, night が前置詞 at と共に用いられ、無冠詞である場合 (at morning, at afternoon, at evening, at night となる場合)³ : 朝・昼・夕方・夜それぞれを範囲を持たないものとして表現している。朝であれば朝全体をまとめてとらえる。従って点的なとらえ方になる。範囲を持たないので他の時間帯と区別することがないため定冠詞が付かない。

以上のことをふまえて英語学習者に簡単に説明する場合、次のように説明してはどうだろうか。

【英語学習者からの質問】

「朝に」は in the morning、「昼に」は in the afternoon、「夕方に」は in the evening と、前置詞 in と定冠詞 the を使うのに、「夜に」は at night で、前置詞は at で冠詞なしで表現します。なぜ夜だけ違うのでしょうか。

【回答】

まず、事実確認をしたいと思います。よく見るのは in the morning, in the afternoon, in the evening, at night ですが、at morning, at evening という表現もありますし、in the night という表現もあります。それではまず、前置詞 at から説明します。

① The clouds look like bandages at evening.

これは病室から窓越しに雲を見たときの描写で「夕方には雲は包帯のように見える」という意味で、夕方ならいつでもそう見える、ということだ

evening を幅のない点的なものとして捉えています。このように一定の時間を点的に捉えると前置詞 at が用いられ冠詞はつきません。後から説明しますが、夜は幅のある時間というよりはむしろ短い時間として点的に捉えることが多いので前置詞 at と冠詞なしで用いられることが多いのです。次の例文を見ましょう。

② I watch TV after dinner in the evening.

ここではテレビをある一定の時間見るので、evening を幅のある時間として捉えています。幅がある時間と捉えると、どこからどこまでという範囲が意識されます。そうすると1日の中で朝はここからここまで、昼はここからここまで、というように他の時間帯と区別するようになります。つまり時間帯を限定して考えることになるので定冠詞がつくようになるのです。(1) のような感じ方は日常的にはあまりせず (2) のように朝昼夕方を幅のある時間ととらえることが多いので in the morning, in the afternoon, in the evening と、前置詞 in と定冠詞で表現することが多いのです。At night という言葉が使われる場合にはだいたい8時から11時までを指して寝る前の行動（戸締りする、ベットを温める）や寝るということが描写されることが多く、短い時間内におきまりの行動をするということで夜を点的にとらえることが多いため、前置詞 at と無冠詞で用いられることが多いのです。最後に in the night ですが、これは睡眠中の夜を指すことが多く、描写される内容は目が覚めた、騒音・火事・犯罪などがあつたということが多いです。従って、寝ている時間帯ということで時間の幅（範囲）があるという認識がされやすいので前置詞 in と定冠詞で用いられます。

注

1. British National Corpus World Edition は、1 億語のイギリス英語の書き言葉 (90%) と話し言葉 (10%) の品詞標識付きコーパスであり、大半は 1990 年代のテキストである。なお、コンコーダンス・ソフトは TEXANA Learning Edition Ver. 1.61 (赤瀬川史朗氏による) を用いた。また、引用例への斜字、太字の施しは筆者によるものである。
2. Wierzwicka (1993) は、at night の night は具体的な特定の時間を表すのではなく夜という時間の「種類」(a certain “kind” of time (p. 439)) を表現していると言う。無冠詞であることがその根拠である。しかし、そうすると she used to ... get home about seven o'clock at night のような用法を説明できないのではないか。これは明らかに具体的な時間を表していると考えられる。また別の根拠として、morning は時間の継続を表す (night が「時間の種類」を表すのと違って) ので at morning にならないと言うが、例文 (57) (58) などで見ると at morning という用例は存在する。従って、at night の night は morning, afternoon, evening と異なり「時間の種類」を表すのだという考え方には無理がある。さらに 1, 2 節で見たように、at night と in the night は使い分けられているので、前者の night が「種類」、後者の night が「具体的な時間」と考えるのにも無理がある。
3. BNC では at afternoon の用例はなかったが本文中にも触れたように理論上は生じ得ると思うのでここに挙げておく。

主要参考文献

- Coventry, Kenny R. and Simon C. Garrod. 2004. *Saying, Seeing and Acting: The Psychological Semantics of Spatial Prepositions*. Hove and New York: Psychology Press.
- Herskovits, Annette. 1986. *Language and Spatial Cognition: An Interdisciplinary Study of the Prepositions in English*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kreitzer, Anatol. 1997. “Multiple Levels of Schematization: A Study in the

- Conceptualization of Space.” *Cognitive Linguistics* 8.4: 291–325.
- 河上誓作 編著. 1996. 『認知言語学の基礎』 東京：研究社出版.
- Lakoff, George. 1987. *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*. Chicago: University of Chicago Press. [ジョージ・レイコフ (池上嘉彦, 河上誓作 ほか訳). 1993. 『認知意味論』 東京：紀伊国屋書店.]
- Sandra, Dominiek, and Sally Rice. 1995. “Network Analysis of Prepositional Meaning: Mirroring Whose Mind – the Linguist’s or the Language Users?” *Cognitive Linguistics* 6.1: 89–130.
- Shiratani, Atsuhiko. 1998. “The Meaning of the Definite Article and the Indefinite Article.” *International Journal of Pragmatics* 8: 49–57. Pragmatics Association of Japan.
- Tyler, Andrea and Vyvyan Evans. 2003. *The Semantics of English Prepositions: Spatial Scenes, Embodied Meaning and Cognition*. Cambridge: Cambridge University Press. [アンドレア・タイラー&ピビアン・エバンズ (国広哲弥 監訳 木村哲也翻訳). 2005. 『英語前置詞の意味論』 東京：研究社.]
- Wierzbicka, Anna. 1993. “Why Do We Say *IN April, ON Thursday, AT 10 o’clock?*: In Search of an Explanation.” *Studies in Language* 17. 2: 437–454.